

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (安芸高田市立小田小学校)

- ① 教科等 総合的な学習の時間 ② 学年 第3学年
- ③ 単元名 わたしたちの町のお宝発見隊～戸島川レスキュー大作戦～
- ④ 本時の目標 見つけて調べた生き物について、情報をもとに分かりやすく仲間分けすることができる。
- ⑤ 学習の流れ (9時間目/全70時間)

学 習 活 動	支援と指導上の留意点	評価の観点と方法
1 本時のめあてをつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童用シラバスにより、本時のめあてを児童と確認する。 	
見つけたお宝(川の生きもの)をなかまわけしよう。		
2 グループごとに調べた生き物についての特徴を振り返る。 ・いたところ ・色やひれなど体の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが分かりやすい「お宝図鑑」をつくるために分類する、という目的をしっかりとさえる。 ・前時までに調べた生き物の写真や絵を掲示する。 	
3 グループごとに理由を考えながら仲間わけをする。 ・すんでいるところ別 ・お宝とレスキューなもの別 ・魚類 貝類 虫 ・ひれの形や体の特徴別	<ul style="list-style-type: none"> ・生き物の写真をワークシートに並べながら仲間わけができるようにさせる。 ・ワークシートに仲間わけの理由が書けるようにしておく。 	
4 仲間わけした結果と理由を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでまとめたシートを掲示する。 ・それぞれのグループの分類の良さは認めつつ、誰もが分かりやすい分類になるように整理させる。 ・大まかな分類から細かい分類までが分かりやすいように、黒板に整理して板書する。 ・どうしてそう分類したのかという理由を明確にして話をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見つけて調べた生き物について、住んでいる所や体の特徴などに着目し、整理して仲間わけをして、理由をワークシートに書いたり発表したりしている。 〔科学的な思考・表現〕 (行動観察, 発表, ワークシート)
5 まとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・似た意見はまとめ、まとめられない部分は「お魚はかせ」に聞いてみるように促す。 	
6 本時を振り返り、次時からの活動を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてにそって自己評価をさせる。 ・児童用シラバスを確認し、次時からの活動の意欲づけを図る。 	

言語活動の充実

設定した言語活動を通して育てたい力

- 調べた情報をもとに、理由を考えて仲間分けすることができる。
- 自分の考えを根拠を基に分かりやすく発表することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 魚の写真を付箋にして、グループで付箋を動かしながら話し合わせる。
- 分類の仕方を3段階に分けて学習させる。(1分類の観点を見つける, 2よさの実感, 3活用)
- これまでに見つけた観点をもとにして、グループでたくさんの魚を分類し、その分類の根拠をあきらかにして説明させる。